



## 【官学連携】神田外語グループ 福島県教育委員会に『全文英訳万葉集』を謹呈

～10月30日(水)に謹呈式を実施～

神田外語グループ(東京都千代田区/理事長:佐野元泰)は、2024年10月30日(水)に本学で発行した『全文英訳万葉集』《THE MAN' YO - SHU》を同県教育委員会(福島県福島市/教育長:大沼博文)に贈呈するため、福島県庁にて謹呈式を執り行いました。今回の取り組みは、県内の小学校、中学校および高等学校に本書を寄贈し、英語教育の充実と文化理解の推進に貢献することを目的としています。本学は、昨年9月に福島県との包括連携協定を締結しました。今後もこの協定を基に、英語教育支援を通じて県内の子どもたちが国際的な視野を育む機会を広げる取り組みを行っていきます。



▲大沼博文教育長(左)と佐野元泰理事長(右)



▲佐野元泰理事長の挨拶の様子

### 『全文英訳万葉集』謹呈式 概要

日時	2024年10月30日(水) 10:00～
場所	福島県庁西庁舎5階 教育委員室
出席者	福島県教育委員会教育長／大沼 博文 神田外語グループ理事長／佐野 元泰
式次第	1. 出席者紹介 2. 挨拶(神田外語グループ理事長 佐野 元泰) 3. 『全文英訳万葉集』謹呈 4. 写真撮影 5. 謝辞(福島県教育委員会教育長 大沼 博文) 6. 懇談



## 出席者コメント<福島県教育委員会教育長／大沼 博文> ※一部抜粋

この度は、本県の英語教育の充実と文化理解の促進のため、「全文英訳万葉集」を贈呈いただき、感謝申し上げます。

また、貴グループにおかれましては、ブリティッシュヒルズを震災復興学習の拠点として、福島のご記憶と今を次世代に伝えていただいているほか、復興支援プロジェクトの一環として同グループの学生団体が被災地を訪れ、子どもたちに英語を楽しく学んでもらう英語教育活動を実施していただいておりますこと、深く敬意を表します。

本県では、福島のご良さを大切に「福島ならではの」教育を進めるとともに、それを実現するため、一方通行・画一的な授業等から、「個別最適化された学び」、「協働的な学び」、「探究的な学び」へと「学びの変革」を進めております。

「全文英訳万葉集」を通じて英語で日本の古典文学に触れ、日本の文化を再認識するとともに、国際的なコミュニケーション能力を高めることにつながるものと考えております。

各学校において「全文英訳万葉集」を活用しながら、本県の英語教育のさらなる充実に取り組んでまいります。

## 出席者コメント<神田外語グループ理事長／佐野 元泰> ※一部抜粋

本日は、神田外語グループ・神田外語大学を代表して、このたび福島県内の小中高校の皆様にご英語版万葉集をお届けできることを大変光栄に思います。万葉集は、日本の歴史と文化が息づく貴重な文学作品であり、その中には福島県を題材にした句も含まれています。

この地の美しい自然や人々の思いを詠んだ万葉集の句を、福島のご若い世代の皆様が英語で学び、共感し、新たな視点から受け取っていただければと願っております。

福島県は、復興を進める中で次世代の教育にも力を入れ、その中には英語教育の充実も含まれています。この英語版万葉集は、英語学習と日本文化の理解を深める絶好の教材として活用いただけると確信しております。また、万葉集の中で福島がどのように詠まれ、その時代からどのように受け継がれてきたかを考えることで、自分たちの地域に誇りを持ち、国際社会でも堂々と自らを表現する力を育ててほしいと願っております。

最後に、大沼教育長をはじめ、福島県の教育関係者の皆様、そして生徒の皆様にご心より感謝申し上げます。この英語版万葉集が福島の皆様にご新しい発見と学びの機会を提供し、未来へ向けた一歩をともに歩む一助となることを祈念いたします。

## これまでの福島県内での活動(一部抜粋)

### 【海外スタディ・ツアー(国内研修)】

神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部の学生を対象にした留学プログラム「海外スタディ・ツアー」の国内研修では「福島フィールドトリップ」として東日本大震災・原子力災害伝承館の視察や双葉町のまち歩きなどを実施してきました。(現在は海外研修のみ。今後の国内研修は未定。)

①[https://www.kandagaigo.ac.jp/memorial/future/04/interview\\_04\\_1.html](https://www.kandagaigo.ac.jp/memorial/future/04/interview_04_1.html)

②[https://www.kandagaigo.ac.jp/memorial/future/04/interview\\_04\\_2.html](https://www.kandagaigo.ac.jp/memorial/future/04/interview_04_2.html)



【福島県の小中学生に英語教育支援】

2011年から2016年にかけて、復興支援プロジェクトの一環として神田外語大学および神田外語学院の学生団体が被災地を訪れ、子どもたちに英語を楽しく学んでもらう英語教育活動を実施して参りました。

<http://shinsai.kandagaigo.ac.jp/archives/324>

【学園祭への福島県ブース出展】

2023年から、神田外語大学で開催される学園祭「浜風祭」において福島ブースの出展をおこなっています。県産品の販売やパネル展示、復興状況に関する福島県庁職員によるプレゼンテーションをおこない、“福島は今”を来場者に発信する機会を創出してきました。

<第37回浜風祭> [https://www.kandagaigo.ac.jp/group\\_news/detail/0103\\_0000009844.html](https://www.kandagaigo.ac.jp/group_news/detail/0103_0000009844.html)

<第38回浜風祭> [https://www.kandagaigo.ac.jp/group\\_news/detail/0103\\_0000010544.html](https://www.kandagaigo.ac.jp/group_news/detail/0103_0000010544.html)

本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園(神田外語グループ) グループコミュニケーション部 担当：三上山 雄亮

TEL:03-3258-5837 (平日 9:30~17:00) FAX:03-5298-4123 E-mail:[media@kandagaigo.ac.jp](mailto:media@kandagaigo.ac.jp)

※本学から配信されるプレスリリースはSDGsに基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/>

※神田外語グループ公式 Twitter(X)アカウントはこちら:[@kandag\\_official](https://twitter.com/kandag_official)

